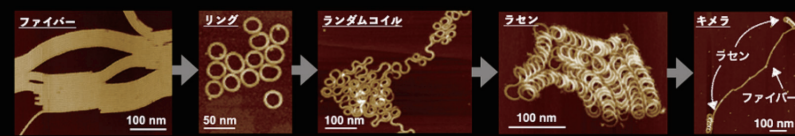


AFMでみる分子の世界

～高分子材料の高分解イメージング～

特別講師

千葉大学 矢貝 史樹 教授



- 日時: 2022年 3月 29日(木) 13:30~14:55 (13:00~ログイン開始 ※初めてご利用の方は接続テストの為お早めにログイン下さい)
- 形式: オンラインによる**WEBセミナー** (※システムは GoToWebinar を使用します。)
- 費用: 無料(事前申込み制)
- 参加方法: お持ちのPCにてご参加 (スマートフォンからもご参加可能です。)

セミナー詳細

13:30~13:35 **ご挨拶**

13:35~14:25

【特別講演】『AFMによって明かされる湾曲超分子ポリマーが織りなす多様なカタチ』

千葉大学 グローバルプロミネント研究基幹教授

千葉大学大学院工学研究院 融合理工学府共生応用化学コース教授 (兼任)

矢貝 史樹 先生

超分子ポリマーとは、モノマー分子が非共有結合でつながれたポリマーであり、次世代のポリマー材料としてその高機能化が切望されている。主鎖が脆弱な超分子ポリマーはとりわけタンパク質や機能性ポリマーのような高次構造の制御が困難である。当研究室は、湾曲しながら超分子重合するモノマー分子を偶然発見したことを発端に、多様なトポロジー(カタチ)を有する湾曲超分子ポリマーを開発してきた。本講演では、AFMと共に歩んできた湾曲超分子ポリマーの10年間の進展について振り返ってみたい。

14:25~14:55

『AFMによる大気中・液中環境下での高分解能イメージ測定事例』

ブルカージャパン株式会社 ナノ表面計測事業部 アプリケーションマネージャー

鈴木 操

AFM使用用途は、依然として形状測定・高分解能イメージングが主であり、かつ、需要は多い。ほとんどのAFMユーザーは、従来法であるタッピングモード(ACモード、ダイナミックモード)を使用しているが、測定原理上、高分解能・超高分解能測定に対しては空間分解能に制約が出てくる。ブルカーのピークフォースタッピング法は、瞬間的なチップ - サンプル間に作用する接触力を制御することによって、高分解能・超高分解能イメージングを比較的容易に達成することが出来るブルカー独自の手法である。本ウェビナーでは高分解能を達成するための基本的な考え方と測定事例について説明する。

<お申込み>下記WEB登録にてお申込みください。

WEB登録サイト

<https://bit.ly/3pUC9Vt>

▶ 登録用 QR コード



【本イベントに関するお問合せ】ブルカージャパン株式会社 ナノ表面計測事業部 イベント担当
 電話: 03-3523-6361 / Mail: info-nano.bns.jp@bruker.com

特別講演講師 ご紹介

千葉大学 グローバルプロミネント研究基幹教授
千葉大学大学院工学研究院 融合理工学府共生応用化学コース教授 (兼任)

矢貝 史樹 先生



研究内容

分子集合や自己組織化を利用した機能性有機材料の開発

研究テーマ

湾曲超分子ポリマーの開発と応用、光応答性分子集合体の開発、発光性分子集合体の開発

ご参加方法

お持ちのPCにてご参加 (スマートフォンからもご参加可能です。)

GoToWebinar のインストールが可能なPC及び端末をご用意ください。ご勤務先のセキュリティポリシーによってはアクセスが許可されていない場合もございます。事前にIT部門の方へご確認願います。ご登録後にウェビナー参加詳細が書かれたメールが届きます。

当日は開始10分前までに、メールに記載されたリンクをクリックし、参加します。

GoToWebinar システム要件 ▶ <https://bit.ly/3sne6xl>

● 参加のお申し込み

下記WEB登録にてお申込みください。

WEB登録サイト <https://bit.ly/3pUC9Vt>

【イベントに関するお問合せ】



www.bruker-nano.jp

ブルカージャパン株式会社
ナノ表面計測事業部

東京営業所：〒104-0033 東京都中央区新川 1-4-1
Phone: 03-3523-6361 Fax: 03-3523-6364